


地域情報化アドバイザープロフィール

| | | | |
|-------------------|---|-------------|---|
| ふりがな | いのうえ ひでゆき | |  |
| 氏名 | 井上 英幸 | | |
| 所属・役職 | 一般社団法人 九州テレコム振興センター 主席研究員 宮崎県（参与）デジタル化戦略アドバイザー | | |
| 活動拠点 | 九州エリアを中心に活動中。 | | |
| 略歴 | 1990 年 3 月 九州大学大学院総合理工学研究科修了（統計数学） 1990 年 4 月 松下電器産業株式会社（現パナソニック）入社 1996 年 5 月 宮崎県ソフトウェアセンター入社 2004 年 4 月 アボック株式会社入社 2009 年 4 月 宮崎県（情報政策課）入庁 全庁の IT 関連調達の支援、市町村の情報化（自治体クラウド等）支援、 仮想化によるサーバー統合基盤構築、オープンデータの取組（庁内保有データの 棚卸し）等に取り組む 2016 年 4 月（一社）九州テレコム振興センター 入社 自治体のデジタル化に関する取組、計画策定等の支援に数多く取り組む 2021.4～ 宮崎県（参与）デジタル化戦略アドバイザーを兼務 | | |
| 地域情報化の 専門分野・技術 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体 DX、計画策定、庁内の意識改革等 ・オープンデータ（自治体の所有データ棚卸し、公開サイト構築等） ・データ利活用（RESAS, IoT, AI 等） ・ICT を活用した行政改革 ・自治体クラウド ・ネットワーク（地域イントラネット等） 等 | | |
| 専門分野 | オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） 計画策定支援（地域情報化 計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの 標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調達/地域情報プラットフォー ム デジタルデバイド対策 | | |
| 自治体向けメッセー ジ | デジタル化による業務改革をはじめ、IT 調達支援業務、自治体クラウド、行政システム 全体最適化、オープンデータ等、デジタル政策全般に携わってきました。行政内部の実 情を把握した実践的なアドバイスが可能ですので、どんなことでもご相談ください！ | | |
| 関連サイト | | | |
| | これまでの 経験業 | これまでの経験、業務等 | |

| | | |
|---------------------------------|---------------|---|
| <p>地域情報化に関する実績</p> | <p>務・研究活動</p> | <p>地域におけるインターネットの普及促進 (H8～H20) インターネットプロバイダーの設立、運営、研修等 ネットワーク構築、Web システム等の開発等</p> <p>自治体関連 (H21～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IT 調達支援 宮崎県在職中 (H21-H27) 毎年 100 件程度の IT 関連調達を支援 (仕様書、審査基準、実施要領等の作成や、随意契約時の見積精査・交渉等) ※関連して、防災行政無線システムの調達支援も複数の自治体で実施 ・ 庁内システムの全体最適化 (H23～H25) 仮想化技術による全庁システムのサーバ基盤の構築・運営 ・ オープンデータ (H26～) 宮崎県における所有データの棚卸し、オープンデータサイトの構築、市町村とのサイト共有などデータのオープン化を図ると共に、庁内におけるデータの相互活用、地域におけるデータ利活用の裾野の拡大等に取り組む (全国で講演等も実施) ・ 自治体のデジタル改革、DX 推進計画策定等支援 (R1～) 九州各県の市町村の進めるデジタル改革を庁内の意識改革、体制のあり方、進め方などそれぞれの自治体の状況等の応じてアドバイス (幹部含む職員向けの講義等も多数実施) |
| <p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高原町 ICT 利活用による地域活性化研究 ・ 宇佐市 ICT ビジョン策定支援 ・ 肝付町情報化基本計画策定支援 ・ 荒尾市 DX 推進計画策定支援 等 |